

### 3. 教職員に対する研究会、研修会等の開催

#### 3-1 大学情報化全国大会

本大会は、大学全体の情報化を普及促進するための課題として、情報技術活用の組織的取り組み、情報技術を活用した教育の事例、著作権問題、セキュリティ対策、最先端の技術動向などを中心に理解を深めることを目的として、継続開催している。なお、本大会の企画及び運営・準備にあたっては、運営を専門とする事業実施機関として、情報化全国大会運営委員会（委員長：向殿政男、明治大学）を設置して対応した。

##### (1) 開催方針

平成16年度大会は、次のような方針のもとで開催プログラムを決定した。

- ① 開催テーマを「e-Learningの実現に向けて」とし、昨年度の基礎的理解の次の段階として、実現に向けた具体的方策について実践事例を中心としたプログラムを企画した。
- ② 1日目は、e-Learningの共通理解や認識を深めるため、「e-Learningの実際」と題して、向殿運営委員長より多様な取り組みがあることの解説を行い、その上で大学が組織的に取り組んでいる事例3件と教員が授業単位で取り組んでいる事例3件を紹介し、事例の発表者にコメントを加え、「e-Learning導入のノウハウと今後の課題」と題し、導入に伴う留意点と課題をパネルディスカッションすることとした。

具体的には、e-Learningの組織的取り組みの実践事例として、千歳科学技術大学、明治大学、早稲田大学から紹介を行い、各教育分野における活用事例として、社会科学系を松島桂樹氏（武蔵大学経営学部教授）、情報系を山口治男氏（東京工科大学メディア学部長）、医学を吉岡俊正氏（東京女子医科大学医学教育学教室教授）から紹介を行うこととした。また、実践事例のまとめとして、玉木欣也氏（青山学院大学）をコメントタに加え、事例紹介者と実践経験を踏まえたe-Learning導入のノウハウ、現状の問題点、今後の課題について、参加者を交えた意見交換を行うこととした。

- ③ 2日目は、情報技術を活用した教育や支援環境に関する事例について、

会員校の他、非加盟の国公私立の大学・短期大学へ公募した。

④ 3日目は、e-Learningを実施する際の著作権問題について認識を深めるため、私情協の取り組みとして、オンラインによる著作権処理代行事業や学内の著作物取り扱いのモデル規程を紹介することとした。また、教育現場における著作権問題について、玉井克也氏（東京大学先端科学技術センター知的財産権大部門教授）より、「著作権に関する留意点とQ & A」と題した解説を行うこととした。

この他、「ユーザによる教育・学務関連システム紹介」と題して、企業が開発した教育・学務関連システムの導入事例を、大学がユーザの立場で紹介することとした。

## （2）開催結果

以上の方針をもとに、次ページの通り開催要項及び日程を決定し、9月7日、8日、9日の3日間に亘り、東京市ヶ谷のアルカディア市ヶ谷（私学会館）を会場に開催した。参加大学は、176大学、28短大、賛助会員は20社で、3日間の参加者数は2日目発表者や賛助会員を含めて533名となり、昨年度とほぼ同じ結果となった。なお、開催結果の概要は、巻末の資料編【資料8】を参照されたい。

## （3）次年度への準備

大会後、運営委員会では参加者からのアンケートを踏まえて、17年度の開催方針について検討を行った。日程及び会場は、9月7日から9日の3日間、アルカディア市ヶ谷（私学会館）に決定した。開催テーマを「e-Learningの実施と効果」とし、プログラムの内容は、私情協でとりまとめた「教育改革を目指したe-Learningのすすめ」の紹介、それに関連した事例紹介、個人情報保護法を踏まえた教育における情報の取り扱いに関する調査報告、留意点の解説、著作権処理代行事業等について、私情協の取り組み紹介について検討を進めている。なお、例年通り、開催結果の概要を大会終了後にホームページに掲載し、当協会の活動内容がより多くの大学関係者に周知されるよう迅速に対応することとした。

～e-Learningの実際～

平成16年度 大学情報化全国大会 開催プログラム

<http://www.juce-in/i-link/taikei/taikai2004.htm>

三月七日

参加費 会員	会員：7,500円 非会員11,250円 (税込)
会場	3F 豊土
10:00 ●開会挨拶	杜國法人 泡立大学情報教育協会 戸高 総之会長
●解 説	e-Learningの実際 大会運営委員長、明治大学理工学部長 尚樹 政男氏
●事例紹介	e-Learningへの組織的な取り組み
10:10 「e-Learningによるリ传媒アル教育の実践と高大連携への 展望」 千歳科学技術大学光科学部副教授 小松川 浩氏	
10:30 「教育学習支援と大学生活情報のための統合的システム」 明治大学教養経済学部教授 安藤 伸治氏	
10:50 「e-Learningによる大学通信教育課程の実践と評価」 早稲田大学附属教育課程教務主任 西村 昭治氏	
11:10 対 務	(10分)
11:20 休 憩	(10分)
11:30 ●事例紹介 各教育分野におけるe-Learningの活用	
「社会科学系教育におけるe-Learningの活用」 筑波大学経済学部教授 松島 佳樹氏	
11:50 「情報系教育におけるe-Learningの活用」 東京工科大学メディア学部長 山口 治男氏	
12:10 「医学教育におけるe-Learningの活用」 東京女子医科大学医学教育教室教授 吉岡 俊正氏	
12:30 休 憩	(60分)
13:30 ●パネルディスカッション e-Learning導入の事例紹介者をパネリストとして、実践経験 生前のセッションの事例紹介者をパネリストとして、実践経験 を踏まえたe-Learning導入のノウハウや現状の問題点、今後の課 題についてコメントいたします。 コメンテーター 青山学院大学経営学部教授 正木 純也氏	
14:40 休 憩	(20分)
15:00 ●私情説の事業紹介および補助金活用の留意点	
・校情情報技術講師 ・講習(ネットワークによる自己学習)の実施	
・教育改善のための学習管理装置と今後の課題 ・情報開発補助金活用の留意点	
16:00 終了	

四